

グループホーム べてる村山	グループホーム メゾンユトリロ
「入院や生活訓練が終了したけど、地域生活を送るのはまだ自信が持てない」という方に対し、単身生活の体験の場を提供している施設です。3年の入居期間の中で、仕事や家事など日々の活動をこなし、自立した生活を目指します。べてる村山では「一日一回職員と顔を合わせることを原則」としており、その日の活動と一緒に振り返り話し合うことで、安心して活動できるよう支援しています。定員は10名ですが、利用の相談は随時受け付けております。お気軽にご相談ください。 お問い合わせ先：042-531-5810	メゾンユトリロは杉並区にある寮のような共同生活型のグループホームで、入居期間は概ね3年で定員は12名です。対象は精神科への通院・服薬が出来ていて、作業所や就労、デイケア等の日中活動が行える方です。夜間は当直の職員が居ますので、安心してお過ごしになれます。利用者の方が個々の目標に応じた安定した生活を送れるよう支援しています。 国型・区の活用型のショートステイ室も提供しておりますので、短期間の宿泊も可能です。 お問い合わせ先：03-3399-8373
生活訓練施設 たまこヒルズ	地域活動支援センター お伊勢の森
当施設は、定期的に通院されている方、退院後間もない方を対象にリハビリテーションを行う施設です。日中は、プログラムが組まれていて、参加を通じて生活リズムの改善、基礎体力の回復、対人面の向上など目指していきます。食事や生活リズム・服薬といった「健康面」、着替えや掃除・金銭管理といった「生活面」、挨拶や友達作りといった「対人面」など、その方の課題や目標に応じて生活訓練を行っています。また、夜間帯は当直の職員を置いておりますので、安心してお過ごし頂くことができます。 たまこヒルズでは、入居者を募集しています。将来、一人暮らしがしたい、自立した生活を実現したい、でもいきなりでは不安がある…という方はステップアップの場として、たまこヒルズをご利用ください。 お問い合わせ先：042-567-5502	武蔵村山市地域活動支援センターお伊勢の森は、精神に障害のある方の相談窓口です。精神の障害のことでお困りの方（本人・家族など）のご相談に対応しています。訪問や窓口同行なども必要に応じて行っています。日中の居場所としてのご利用もできます。利用要件は精神科に通院していること・ルールやマナーを守ってご利用頂けることです。ご利用を継続的に希望の方は登録して頂いております。登録までは試験利用期間があります。 お問い合わせ先：042-567-7256
	塩 入 医 院
	杉並の中杉通りに面したクリニックです。「初期治療から社会復帰まで」をモットーに外来診療とデイケアによるリハビリテーション、社会復帰に力を入れています。大泉病院（練馬区大泉学園）と提携し、入院が必要な時に対応しています。 問い合わせ先：03-6915-1061



医療法人社団 円祐会 2020年11月14日発行 第35号

塩入医院	東京都杉並区阿佐ヶ谷南 3-1-23 第5進和ビル2階
グループホーム メゾンユトリロ	東京都杉並区下井草
グループホーム べてる村山	東京都武蔵村山市内
生活訓練施設 たまこヒルズ	東京都武蔵村山市中藤 2-28-1
地域活動支援センター お伊勢の森	東京都武蔵村山市学園 45-1-2 F



グループホーム メゾンユトリロより…

今年は新型コロナウイルスの流行に始まり、未だに落ち着かない状況が続いています。特にグループホームや宿泊型生活訓練施設では、多人数での共同生活を送るという性質上、コロナウイルスに感染しない、感染させない、早期発見という点を意識した生活様式を職員・利用者共に作っていく必要がありました。

館内の換気、マスクの装着の徹底、毎日の検温・手洗い・うがいの習慣化、感染疑いがあつた際の隔離ゾーンの設定などを行い、幸いにも利用者・職員含め大事なく過ごしています。新しい生活様式では身体的な健康だけでなく、精神面への影響にも気を配りながらできる限りの交流・気分転換を大事にして、安定した生活をサポートできればと感じております。

たまこの森だより

2020 年 11 月 発行

お問合せ先

〒208-0001

東京都武蔵村山市中藤 2-28-1

Tel042-567-5502 Fax 042-567-5793

E-mail tamahill@abelia.ocn.ne.jp

入居者募集中

たまこヒルズでは通院中の方、退院後間もない方等を対象に生活訓練を行う施設です。日中は各種プログラムが組まれており、プログラムへの参加を通じて生活リズムの改善、基礎体力の回復、対人面の向上などを目指します。入所された方にはそれぞれに担当職員がつき、「健康面」「生活面」「対人面」「社会生活」などその方の課題や目標に応じて自立生活に向けたサポートを行います。将来ひとり暮らしがしたい！自立した生活を実現したい！・・・でも少し不安があるという方は、お気軽にお問合せ下さい。

<プログラム一例>

	A M	P M
月	ソフトボール	音楽
火	園芸	バレーボール
水	美術	ストレッチ
木	座談会	テニス
金	漢検/数検	バトミントン
土	F R E E	散歩・テニス
日	F R E E	余暇活動

テニスコートの整備が完了しました。

3年前の台風によりテニスコートの法面が崩れてからテニスのプログラムは市営のコートで行っていました。その後擁壁工事を経て、二面あるうちの一面は修復し昨年12月より使用できるようになりました。

この度、残されたもう一面の工事も完了し、いよいよ全面利用可能になりました。これからは広々とした環境で思いきりテニスを楽しむことができそうです。



グループホーム ベてる村山

べてる村山の近況

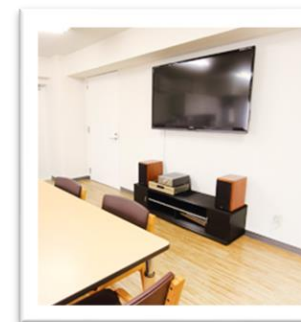
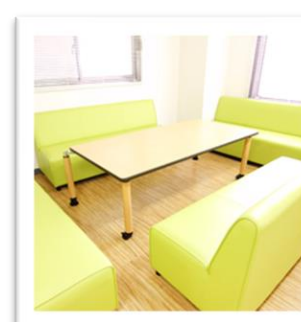
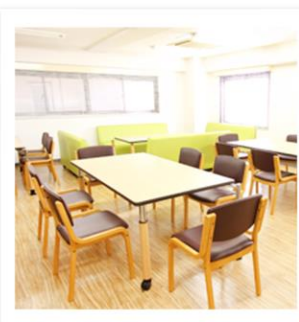
未だに収まらないコロナウイルスは、べてる村山にも影響をしました。例年行っていた、清里旅行が見送りとなり、中には一時仕事が中断される方などもおりました。しかし、利用者の方々の理解と協力もあり、幸いなことに今現在大きなトラブルはなく、活動を続けられています。今後も警戒を怠らず、感染防止に努めながら支援を行いたいと考えております。



塩入 医 院

杉並区、阿佐ヶ谷駅徒歩6分にあります塩入医院では精神科デイケアのプログラムを行い交流と日中活動のリズムに乗るためのリハビリテーションを行っています。コロナが流行している時代ですが、平均10名近くの利用者を迎えて活動できています。

人気のプログラムはここ数年でブームになったボードゲーム「宝石の輝き」「カルカソヌ」などで大半の方はルールを覚えるところから始まりますが、それも良い頭の体操になっています。



グループホーム・メゾンユトリロ

★コロナ対策

一時期よりは落ち着いたものの、コロナウイルスの感染対策は続けていく必要があります。福祉施設でも東京都から対策費用の補助金が出る為、赤外線探知の消毒器、アクリル板の仕切りを導入したほか、今後は空気清浄機やビデオ通話用のタブレット等も揃えて行く予定です。機器のみでなく、習慣としても毎日の検温とマスク着用、帰所時の手洗いうがいなども対策として欠かせません。しばらくは館内が注意喚起の張り紙だらけになりました、入居者の方も習慣化することが出来たので一安心です。

幸いにも、現在のところ入居されている方やOB・OGの方にも感染者は出ていませんが気を緩めずに対策を続けていきたいと思います…。



●アフターコロナのレクリエーション

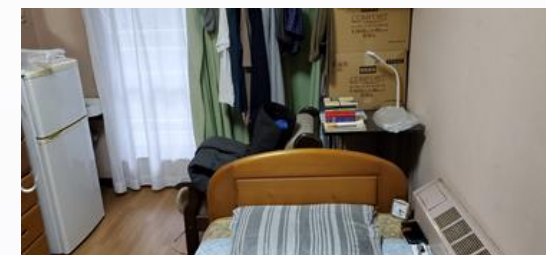
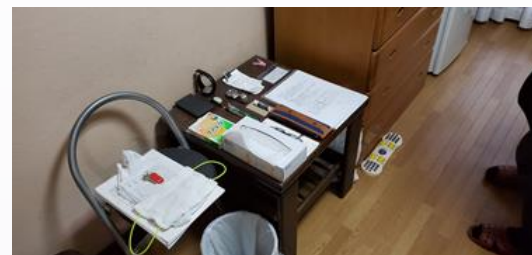
通常であれば、入居者・OG・OBで集まっての食事会や、旅行なども行っていたのですが、今年はコロナの影響で出来ません…。それでも、グループホームという集団生活の中で交流や気分転換となるレクリエーションは大切な事です。

コロナ以後は少人数に分けて感染防止ステッカーのある飲食店に出かけたり、入場制限を設けている葛西臨海公園へドライブをするなど、試行錯誤しながら集まる機会を作りました。どうしてもコロナの話題ばかりになってしまいますが、また皆で集まれる日を思いながら過度に落ち込むことなく声をかけあっていけたらと思います…。



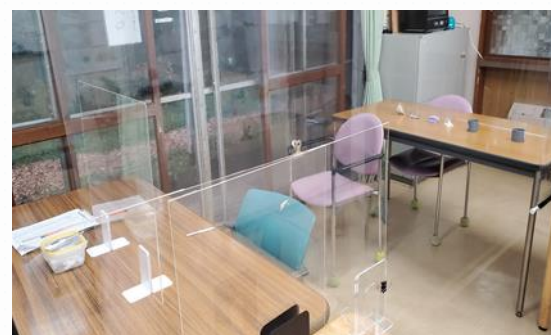
個別生活課題プログラム

それぞれの入居者様に生活上の課題解決に向けた支援を行っています。具体的には身だしなみ・部屋の整理・ゴミ捨て・冷蔵庫の整理・寝具の管理など日常生活で必要な事について助言を行います。必要に応じて一緒に行うこともあります。今後の一人暮らしやグループホームでの生活がスムーズに送れるよう支援を心がけています。



新型コロナ対策

玄関には自動消毒液噴霧器を設置しました。食堂や職員ルームにはアクリル板で仕切り設けています。利用者様・職員共に毎日の体温測定を行っています。一日に4度（10:00・13:00・16:00・21:00）館内の消毒を行っております。室内プログラムの際はメンバー間の距離を一定以上に保ち、密にならないようにしています。館内でスカイプを使い分散して活動を行うこともあります。



カレー炊飯

八王子市の「夕やけ小やけふれあいの里」野外施設にてカレー炊飯を行いました。皆で屋外の飯盒炊爨を体験しました。散策やスケッチも行いリフレッシュすることができました。



行事予定

秋・冬の行事として御岳山ハイキング・芋煮会・クリスマス会・餅つきなどを予定していましたが、新型コロナウイルスの今後の状況によっては中止、または延期になる可能性があります。

利用者満足度アンケート（期間：令和2年1月30日から3月1日）

お伊勢の森利用者に対して手渡し後に、専用回収箱で回収しました。（配布数31の内、回収総数29）

1. 回収できた対象者の年齢

20歳から39歳：2人/40歳から59歳：23人/60歳以上：4人

2. お住まいの地域

榎、大南、学園、緑が丘の方が半数で、その他、武蔵村山市内、全区域の方が利用している。
市外からの利用者は1名。

3. お伊勢の森を利用する理由（複数回答あり）

オープンスペースを利用するため	：21人
相談（電話・面接等）をするため	：19人
プログラムや行事に参加するため	：11人
地域の活動（福祉祭り等）に参加するため	：7人
その他※パソコン利用	：4人



4. 職員の対応

職員の対応について、おおむね好評価を得ているが、不満が残ったとの声も数名からあったため、対応について職員間で検討していく。電話が繋がりにくいという点に関しては、引き続き検討していく。

5. プログラムや行事への参加

回答者の7割がプログラムや行事の参加経験あり。美味しい物を食べるプログラムを楽しみにされている方が多かったようです。また機会があれば参加したいという方が多かった。一方でくつろげない・移転前の場所が良かった、相手にされないと寂しい等の意見もあった。

6. オープンスペース利用

利用した方に関しては、パソコンが使えるから、麦茶が飲める、色んな人との交流が楽しい、という理由で満足、まあまあ良かった、機会があればまた利用したいという声が多数。

7. 設備について

ほぼ全員が満足、もしくは特に要望がないという結果。テレビが古かったため、買い替えています

★アンケートに答えてくださった方々、ご意見いただきありがとうございます★

令和元年度実績報告

登録者数 185名（令和2年3月末日現在：男性121名 女性64名）

30代・40代のメンバーが全体の約6割を占めます。

開館日数 280日（火～金：10時～20時、土・日：10時～18時、休館は月曜・祝日・市民総合センター休館日）

利用者同士の対人関係を学ぶ場・寛ぎの場を提供しています。ディナーサービス、昼食作り、粘土、ストレッチなどのプログラムや、もちつき、花見、バーベキュー、芋煮会、忘年会などの行事を行って、楽しみの共有・自信をつける機会を作っています。令和元年度のオープンスペースの利用は1日平均約13.8名でした。（今年度はコロナウイルスのため行事を縮小しています。）

面接相談件 1278件（前年度1242件）

体調についての相談や対人関係の悩みに始まり、生活・仕事に関する不安の解消等の相談、金銭管理の相談が多い傾向にあります。

電話相談 6101件（前年度5966件）

体調・対人関係・仕事上の悩みなどの相談等が寄せられます。具体的な悩みがある方から、寂しさ・孤独感から近況報告のような形で連絡してくる方もいます。また、来所や連絡が長期間途絶えている方へはイベントの声かけと合わせて生活状況を伺っています。

訪問 162件（前年度166件）

服薬管理、金銭・衛生面等生活全般についての支援・見守りなどを行っています。もともと単身生活をしていた人や施設を出て地域生活を始めた方などの自宅を訪問しています。

同行支援等 263件（前年度174件）

施設見学・買い物同行・職場訪問・行政手続き同行・病院同行等を行いました。生活面で手厚い支援が必要な方には、他に家賃振り込み同行・公共料金支払い同行、ヘルパー契約等の支援も行いました。

★福祉サービスを利用する際に必要な受給者証に関する障害支援区分認定調査、サービス等利用計画作成、地域移行・定着支援も行っています。

★今年度も地域活動支援センターお伊勢の森は皆さんが地域で安心して暮らしていけるよう、より良い支援を提供していく所存ですのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

お伊勢の森の近況

コロナウイルスの影響を受け、オープンスペースの利用人数は同時に4人まで、プログラムはストレッチのみ行なっています。
世間は以前に比べコロナの自粛モードから解放されつつありますが、まだまだ油断はできません。

寒さやコロナに負けず今年を乗り切りましょう！

10月が終わり世間も年末ムードになりつつあります。まだ詳細は決まっていますが、12月には忘年会を行う予定です。

